

ジャパン SDGs アクション推進協議会 令和2年度事業計画

<活動の狙い>

- ◇ 神奈川県と UNDP（国連開発計画）との SOI（Statement Of Intent、連携趣意書）に基づき、国連と連携してアジアで初めて「SDG Global Festival of Action」のブランチイベント、「SDGs アクションフェスティバル（仮称）」を開催する。
- ◇ また、「SDGs アクションフェスティバル（仮称）」の令和2年度開催に向けて、官民のあらゆるステークホルダーの参画のもと、日本における SDGs のさらなる認知拡大と、国連が提唱する SDGs 達成に向けた「行動の10年」に沿った具体的な行動につながる取り組みを、「ジャパン SDGs アクション」として、一体感をもって推進する。

1 行事等の名称

「ジャパン SDGs アクション」

2 行事等の主催・共催・後援

主催：ジャパン SDGs アクション推進協議会

後援（調整中）：

外務省、内閣府、環境省、経済産業省、金融庁、神奈川県、地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム、（一社）日本経済団体連合会、（公社）経済同友会、（一社）グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン、（公社）日本青年会議所、（一社）SDGs 市民社会ネットワーク

3 行事等の期間及び場所

（1）プロモーション活動

期間：令和2年7月～令和3年3月（予定）

場所：オンライン及び国内各地

（2）SDGs アクションフェスティバル（仮称）

期間：令和3年3月26日（金）～3月27日（土）

場所：UNDP共催イベント*オンライン

ジャパンイベント*パシフィコ横浜会議センター、クイーンズサークル、はまぎんホールヴィアマール等及びオンライン

4 内容

(1) プロモーション活動

ア ポータルサイトによる発信

- ・ 国内のすべての人々に対し、SDGs のアクションを呼びかける「ジャパン SDGs アクション」のポータルサイトを運営。全国の SDGs アクション先行事例を紹介することで、企業・団体のみならず、個人レベルでの共感を引き出し、SDGs の認知度向上と活動の裾野拡大につなげ、「SDGs アクションフェスティバル（仮称）」に向けた機運醸成を図る。

イ ポスター制作及び掲示

- ・ 一般市民をはじめ、企業・団体等も含めたあらゆるステークホルダーへ、SDGs のアクションを呼びかける「ジャパン SDGs アクション」のポスターを作成し、全国の施設等に掲示する。

作成枚数：100,000 部程度

主な掲示場所：官公庁、関連自治体、公共施設、交通機関、協賛企業・団体等の施設など

掲示時期：令和2年9月頃～令和3年3月

ウ 「SDGs People」による発信

- ・ SDGs のそれぞれの目標に合わせて積極的に活動している有名人（インフルエンサーや有識者など）を「SDGs People」に指名する。「SDGs People」から、それぞれの SNS やプロジェクトサイトなどで、メッセージや情報を発信する。

エ コミュニティを活用した発信

- ・ 様々なコミュニティにおいて、オンライン会議や Facebook グループ、定例のイベント等により SDGs に関する具体的な活動について発信する。

オ その他 PR 活動の実施

- ・ 上記のほか、一般市民をはじめ、企業・団体等も含めたあらゆるステークホルダーへプロジェクトを周知するための記者発表会等の活動を実施する。

(2) SDGs アクションフェスティバル (仮称)

- ・ 国内及び世界の SDGs の関係者が集まり、SDGs に関するアクションについて議論するとともに、国内外の方に対し SDGs を知って体感してもらい、アクションにつなげる、「SDGs アクションフェスティバル (仮称)」を UNDP など国連機関と連携し、神奈川県で開催する。

コンセプト：コロナ時代の「build back better」

(テーマ・柱)

テーマ：いのち、気候変動、次世代・ジェンダー

柱：イノベーション、ファイナンス、ローカライゼーション

(プログラム)

- ・カンファレンス

国連機関、国際団体、自治体、企業、大学、市民団体等が参加する会議、フォーラム、シンポジウム など

- ・イベント・パフォーマンス

ビジネスピッチ、映画、音楽、など

- ・ブース展示

自治体、企業、NPO、学校 など

(3) パートナー企業の募集

推進協議会のネットワークを活用し、協賛企業「ジャパン SDGs アクションパートナー」を募集する。